



東濃地区の子育て・親育ち通信

# 家庭教育なう

No.9

2024年12月発行

恵那県事務所振興防災課 家庭教育担当 大島  
〒509-7203 恵那市長島町正家後田 1067-71

TEL 0573-26-1111(内線 208)

FAX 0573-25-7129

MAIL oshima-akihiro@pref.gifu.lg.jp

「家庭教育なう」は恵那県事務所のHPからご覧いただくことができます。QRコード→



## 土岐市子育て応援イベント ファミリーベース

日 時 令和6年10月26日(土) 10:00~17:00  
主 催 イオンモール土岐・土岐市  
企画運営 NPO法人Mama's café



### 「子育て」をテーマに人・モノ・情報が集まるイベント!

土岐市子育て応援イベント「ファミリーベース」は、イオンモール土岐と土岐市の主催で行われたもので、土岐市子育て応援施設「ときめっく」の運営を土岐市から委託されているNPO法人ママズカフェの企画・運営により開催されました。

NPO法人Mama's caféは、「楽しく子育て」をコンセプトに様々な事業を主に多治見、土岐で展開する、子育て支援のNPO法人です。



「ときめっく」で行われていた「絵本の読み聞かせ」の様子

「子育てをするのが今よりちょっと楽しくなる、安心できる」をコンセプトにたくさんのクリエイター、協賛企業、各種団体をまきこんだ一大イベントでした。紙面の都合ですべて紹介できませんが、以下のようなコーナーが用意されていました。イベントを楽しむ多くの家族連れでにぎわっていました。



ハンドメイドマルシェ : 子育てママによる手作り雑貨販売  
親子で楽しめるブース : ワークショップ多数  
フードコーナー : 土岐商業高校カフェ・多治見工業高校カフェ  
ステージ発表 : キッズダンス・バレエ他  
子育て応援! 企業ブース : 無料体験・サンプル配布等  
絵本どうぞの会 : リユース絵本の販売

この中で、土岐市こども家庭課もブースを担当されました。



土岐市子育て情報×ブルーシールコラボ  
子育て情報・園給食のレシピ紹介



岐阜県保育士・保育所支援センター  
(土岐市・多治見市・瑞浪市)  
保育の仕事を目指す方にお仕事紹介します

#### 参加者に伺いました

今日のイベントはチラシで知りました。子どもが仮装をするとお菓子もいただけるので、来場しました。楽しんでいろいろなブースを見て回りたいと思います。(2児のお母さん)

#### 【ここを学びたい】

##### ・巨大イベントで「子育て」啓発

子育てに関わって、これほど大規模なイベントは東濃地区最大といってもよいのではないのでしょうか。大型商業施設に展開される多数のイベント・ブースに圧倒されました。主催者と企画運営の方の熱意が伝わってきました。来場した多くの方に「子育て」「家庭教育支援」について関心をもってもらえたと思います。

#### 【「ときめっく」施設長にお話を伺いました】

今回は、この子育てイベントを目当てに来場する方ばかりではないので、参加者の動きが予測できません。スタッフも30名以上で対応し、高校生ボランティアの方にも手伝ってもらっています。親が「ホッ」として、「子育て」について学んでいける環境を大切にしたいです。

## 保護者がキャリア教育の機会を設定

恵那市立恵那東中学校 講話+体験活動参加型

# 出前職場体験

日時 令和6年10月24日(木) 13:50~15:30  
 講師 市内15社の企業・事業所のみなさん  
 参加者 2年生生徒127名 と PTA研修委員のみなさん



## 保護者が生徒に対して仕事について教える場を!

恵那東中学校では、地域の企業、事業者のご協力のもと、2年生127名を対象に「出前職場体験」を実施しました。「出前職場体験」は、新型コロナウイルスの影響により、従来の「職場体験学習」(生徒が企業を訪問して体験する形式)が実施できなくなった際に、PTA主導で立ち上げられた取組です。今年で3回目を迎えました。

地元企業に学校へ来ていただき、直接お話を伺いながら仕事を体験する機会は、生徒たちにとって大変貴重な学びとなりました。今年度はPTA研修委員会が中心となって計画し、運営をサポートしました。(恵那東中学校には、家庭教育委員会は設置されていません。それでも、親が子どもに対して仕事について教える場を作ろうということで、この取組が継続してきました。)

本年度の出前職場体験には、地域の15の会社、事業所にご協力いただき、生徒たちが10名程度のグループに分かれて、仕事内容を体験しました。生徒たちは仕事の内容や職場の雰囲気を直接感じることで、将来のキャリアに対する意識を高め、地元企業が果たす役割について理解を深めました。

**この出前職場体験の一番の良さは、「その仕事の一番面白い所、エッセンスが体験できる」ところです。**

各事業者の方々が、工夫して、その場面を準備してくださっていました。

	企業	部門
1	ROBOZ	ドローン操縦
2	河合総合	建設
3	中部クリニック	医療
4	おひさまリハビリセンターありんこキッズ	介護
5	東海神栄電子工業	プログラミング
6	エヌ・テック	鉄鋼
7	グリーンホーム	ハウスクリーニング
8	自衛隊	自衛隊業務
9	ドリームジャパン株式会社	ジェラート販売
10	城ヶ丘こども園	保育
11	千草保育園	保育
12	東濃信用金庫	金融
13	金よし	飲食業
14	ヴァン・カウンセル	美容
15	アミックスコム	情報



1 ドローン操縦



2 重機操作



3 手術縫合



4 介護の在り方



5 音光制御



6 溶接



7 窓清掃



8 ロープワーク



9 ジェラート作り



10,11 リトミック



12 銀行体験



13 だし巻き卵調理



14 ロッドを巻く



15 番組制作

生徒たちは、この体験で、その仕事の一番の魅力を味わわせてもらいます。そして、約一か月後、「職場体験学習」に出かけ、一日を通して、仕事に取り組みます。この出前職場体験で学んだ、その仕事の魅力、楽しさなどと違う部分も学ぶことになります。

○研修を担当した保護者にお話を伺えました

「今日は、午後から休みをもらって、学校に来ました。自分の子どもは違う学年ですが、生徒が学習している姿を見ると本当によい体験をさせてもらっているなど感じています。こうして、研修委員がかかわる体制は今年からですが、おかげで家でも仕事について、子どもと話ができると思います。」

○恵那東中学校の先生に事前の指導について伺いました

「生徒たちには『今日来てくださる会社の皆さんは、この時間は、本来ならば、普通にお仕事をしている時間で、お客さんに対応している時間です。その貴重な時間の代わりに、ここに来て、みんなの為に準備をして体験を設定してくれています。それに応える学びをしよう。』と働きかけています。事前にハローワークの方に来ていただき、接遇についても学びました。」と学ぶ意味付けをしっかりとしていることがわかりました。

○事業所の方が体験の中で、中学生に語りかけていました

「きみたちの自己紹介を聞いていて、学ぶという熱意が感じられてとてもうれしいです。また、今こうして話を聞く姿勢を見ていても、一人一人が今、何でここにいるのかとしっかり自覚していると感じます。」と学ぶ姿勢を賞賛してみえました。



真剣にお話を聞く



きれいになった喜びを味わう

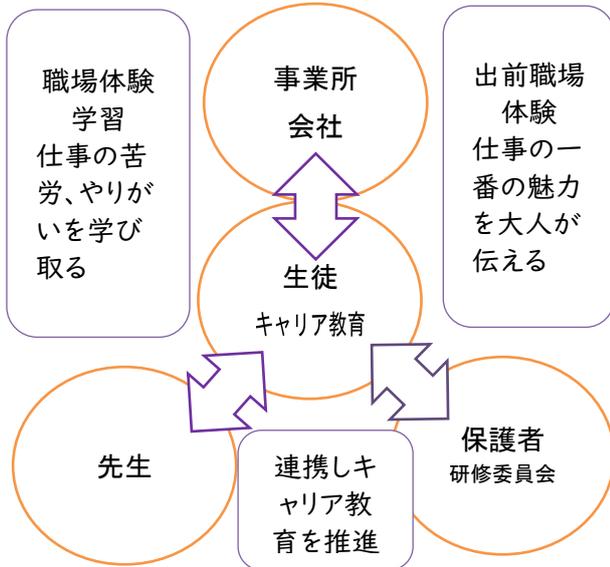
○当日の生徒の姿から

窓拭きを教えてもらった生徒たちの動きです。「すごく、きれいになった。」拭いた窓ガラスが、とても透明になっていることに感動していました。体験の終わる頃に少し時間に余裕があることがわかると、「先生、2組の窓もきれいにしたい。いいですか。」と自分の教室の窓を磨くことを申し出ていました。

仕事のエッセンス(本質)を体験、学んだ子は、自ら動き出す主体性も獲得していくのかもしれませんが。

○「仕事の本質を学ぶ。」

これは、そう簡単にできることではありません。各会社、事業所のみなさんの配慮、工夫、準備で体験させてもらえるのは、とても貴重です。そして、体験を設定する準備はたいへんだったと思いますが、生徒の熱意や、主体性を引き出していただける「学びの場」となっていることがわかりました。



【ここを学びたい】

・保護者が仕事について学ぶ場を設定

コロナ禍で職場体験学習ができなくなったときに始まった取組を職場体験学習が再開しても、継続しています。今年から、PTA 研修委員会の活動と位置づけ、保護者が子どもの体験を見守る形でこの活動を支援してみえます。親が子どもに「仕事について学ぶ場」を作る、この気概を学びたいです。

・PTA 組織の再編の中で、家庭教育学級を意識した活動を継続

恵那東中学校には、家庭教育委員会がありません。PTA 組織の再編の中で、学級委員を研修の部と広報の部に分けて、保護者の負担軽減を図りながら、大切な取り組みは残るようにしています。出前職場体験は保護者、会社(事業所)、学校が連携することで、家庭での親子の職業選択、進路選択への貴重な情報提供の機会となっています。

こどもを守るミニ情報 交通死亡事故多発 県内警報発令

(岐阜県警察本部交通部交通企画課より)

岐阜県内では1か月間(令和6年11月3日以降)の交通事故死者数が10人に達したため警報が発令されました。

(現在までの累計死者数 58人【前年同期比+11人】)

先月の交通死亡事故の特徴は、夕暮れ時～夜間、道路横断中の高齢歩行者被害です。

【ドライバーの皆様へ】

夕暮れ時から夜間、特に雨が降っているときは、歩行者が見えにくく、気づきにくいです。脇見運転、速度の出しすぎは危険です。特に、横断歩道手前では安全運転と減速に心がけましょう。保護者の皆様は、夜間、お子さんの習い事等の送り迎えの際にはくれぐれも気をつけましょう。

【歩行者の皆様へ】

夕暮れ時や夜間は、明るい服装と反射材の着用に心がけましょう。保護者の皆様は、お子さんのカバンや靴に反射材が付いていることをご確認ください。また、子どもの交通事故で一番の原因は「飛び出し」によるものです。ご家庭でも話題にしてください。

# 企業内家庭教育研修 講話 「めざせ イクメン イクジイ」

日時 令和6年11月6日(水) 16:30~17:00  
場所 共栄液化ガス株式会社  
講師 中津川市生涯学習スポーツ課社会教育指導員 嶋倉 伸蔵 さん  
参加者 従業員30名



## みんなが安心して「子育て」におかえる環境づくりを会社として推進 中津川市のワーク・ライフ・バランス事業と連携し、企業内家庭教育研修を実施



共栄液化ガス株式会社(中津川市)において、家庭教育に関わる研修会が開催されました。テーマは「めざせイクメン イクジイ」、「子育て」を母親だけにまかせるのではなく、家族、社会全体で支援していく風土醸成を目指したものでした。講師は、中津川市生涯学習スポーツ課社会教育指導員の嶋倉伸蔵さん。昨年度は、中津川市子育て親育ちシンポジウムのコメンテーターを務めるなど、日頃から社会教育、家庭教育の推進・啓発にご活躍です。

研修は、「絵本」「ほめる」ことの大切さについて講師自身の体験を通じた学びを語っていただきました。参加者の真剣な研修姿勢の中、多くのうなずきや反応があり、温かい雰囲気で行われました。

### 研修前半は防災訓練でした



### 研修担当者に伺いました

「共栄液化ガスでは、年に2回の研修を行っています。いつもは、業務に関わる内容が多いのですが、今回は家庭教育の研修を内容にとりあげました。当社は、「四方共栄」を企業理念として、社員とその家族も大切にしてきました。今回、お声かけいただいたので、地域社会貢献の意味も込めて、研修に家庭教育を取り入れました。」

四方共栄について…四方とは、①お客様やお取引様、②社員やその家族、③株主と会社、④地域や社会、のことを指しています。この全ての皆様、社名の如く共に栄え(共栄)、幸せになることが企業の存在価値ではないかと考えています。

### 内容 めざせ イクメン イクジイ

- 1 講師の子育て体験談 イクメンだったか?
- 2 講師の体験談 お孫さんを育てる イクジイです!
- 3 絵本の魅力、読み聞かせの楽しさ
- 4 子どもをほめる 視点を変えながら常に「ほめる」

### 【参加された方の感想】

- ・ご自身の体験に基づくお話で、とても説得力がありました。実践していきたいです。
- ・女性の思っていることを言ってくださって良かったです。男性の方が子育てと向き合って自分の事と思って取り組んでほしいです。

### 講話の内容はいかがでしたか

とてもよい	よい	あまりよくない	よくない
85%	15%	0%	0%
企業内家庭教育研修は「子育て孫育て」に有効ですか			
とても有効	有効	あまり有効でない	有効でない
70%	30%	0%	0%

【このよさを学びたい!】会社で「子育て」について学べる園や学校の家庭教育学級などで「子育て」について学ぼうと思ってもなかなか予定も合わず、ままならないこともあります。そんなとき、会社の研修で「子育て」について、みんなで学べるというのはとても貴重な機会です。

みなさんの職場でも「子育て」について研修してみませんか。恵那県事務所にお電話ください。(0573-26-1111内線 208)

## 恵那市立大井第二小学校 家庭教育学級 講話・相談 「読み聞かせ 準備・事前学習会」

日時 令和6年11月11日(月) 15:30~16:30

場所 恵那市立大井第二小学校 図書館

講師 恵那市中央図書館 司書 安江 恵 さん

参加者 読み聞かせ担当保護者 5名



### 読み聞かせボランティアの活動において 自信をもって、できるように親が学ぶ=親育ち

恵那市立大井第二小学校では、読書活動に力を入れています。家庭教育学級としても、保護者ボランティアによる絵本の読み聞かせを実施しています。今回は、11月20日(水)~22日(金)に行われる「朝の読み聞かせ」、そのボランティアのみなさんに向けての事前学習会を実施されました。



講師は、恵那市中央図書館司書の安江恵さんです。大井第二小で、学校司書のお仕事を14年にわたって務めてみえます。この日、安江さんは、絵本を10冊以上持参してくださり、ポイントについて解説していただきました。参加した保護者の方には、子どもたちに向けて「読み聞かせ」をするのは初めての方もあり、熱心にお話を聞いてみえました。後半は、実際に読み聞かせをする本を選びました。安江さんにも相談に乗っていただき、有意義な絵本選びができました。きっと楽しんで子どもたちに「読み聞かせ」ができたことと思います。

#### 当日の「朝の読み聞かせ」の様子



【保護者の方に伺いました】

毎年、読み聞かせボランティアを行っています。「お母さんの読み聞かせ、おもしろいね。」とわが子の友だちが言ってくれたそうです。ちょっとハードルがあがってしまいましたが、絵本選びから頑張りました。

#### 内容 読み聞かせ事前学習会

- 1 絵本の紹介
- 2 読み聞かせのコツ、ポイント
- 3 質問タイム
- 4 絵本の選び方 相談タイム



#### 【安江さんに絵本の選び方について伺いました】

「今回は、朝の読み聞かせなので、明るく、楽しい本を選びたいですね。朝、楽しい気持ちになって、1時間目の授業に向かえればと思っています。また、季節感も大切にしたいですね。今の時期なら、「この絵本を読むと、子どもたちが興味をもってくれるかな」と考え、本を選んでいきます。

#### 【このよさを学びたい!】 子どもにとってよりよい「読み聞かせ」を求めて

大井第二小学校では、家庭教育委員の役割を研修委員が務めています。この絵本の読み聞かせ事前学習会も、十年以上続いている伝統があります。ボランティアのみなさんは、絵本の選び方、持ち方、読み方など、読み聞かせの基本について学び、子どもの前に立ってみえることがわかりました。ボランティアの方も「委員だから・・・」の責任感で行われる方もあれば、「絵本が好きなので・・・」と参加される方もいらっしゃいました。「読み聞かせ」に向かう保護者の自発的な学びで、本好きな子どもが育っています。

「話そう!語ろう!わが家の約束」運動 啓発チラシ配布について~岐阜県からお知らせ

**話そう! 語ろう!**

## わが家の約束 運動

家庭の豊かなコミュニケーションを生み出す運動です。

**運動の取組方法**

- 1 家族で話し合って「わが家の約束」をつくります。
- 2 取組を実践カードに記録します。
- 3 実践中や実践後に家族で互いの思いを伝え合います。
- 4 次の約束を話し合います。

**どんな約束をつくればいいの?**

例えば・・・

- ❖ 家族のあいさつを増やそう。
- ❖ 家族のために一緒に食事の準備をしよう。
- ❖ 感謝の気持ちを伝えよう。
- ❖ 1日5分以上は家族で話をしよう。

★ 子どもだけでなく、家族みんなの約束になるように工夫をしてみましょう。互いに大切にしたいことを伝え合い、約束にするのもいいですね。  
(例:「お母さん・お父さん・子ども」は、○○するよ。」「家族みんなで○○しよう。」)

家庭で教え、育みましょう!

岐阜県家庭教育支援課長より

**実践を紹介します**

**高山市立丹生川中学校**  
中学校入学に向けて

中学校と小学校また学校と家庭が連携し、子どもたちの成長の節目である中学校1日入学を機会に、「話そう!語ろう!わが家の約束」運動に取り組みました。

**家族に1日1回「ありがとう」を伝える**

子どもから家族へ「ありがとう」を言った自分も言われた相手も、良い気持ちになったと思います。いつも助けてくれる家族だから、これからも感謝の言葉「ありがとう」を伝えたいです。

**家族から子どもへ**  
1日1回ではなくたくさん「ありがとう」と言ってくれました。みんなで「ありがとう」とたくさん伝えるようにしたいね。

**ここがイイね!**

中学校入学時に、親子で約束(めあて)をつくり、実践し、語り合う時間が、子どもの進学への気持ちを高め、子どもの成長を後押ししています。

**親子の約束づくりのポイント?**

わが子の成長の機会を捉え、取り組む内容を決める。  
●卒業 ●進級 ●学校行事 ●長期休業 など

「わが子の姿を応援!」  
「わが子と一緒に成長!」という  
気持ちを大切に取組むと効果もアップ!

12月には、上記のような「令和6年度啓発チラシ」が県内中学校宛に県環境生活政策課より配布されます。すでに7月には県内幼・保・こども園・小学校・義務教育学校・特別支援学校の幼稚部と小学部(全保護者対象)には配布されました。

家庭教育学級の年間計画を拝見しますと、冬休みの長期休業日を利用し、「話そう!語ろう!わが家の約束」運動、または、それに準ずる家庭と学校をつなぐ在宅型の家庭教育学級に取り組まれる園や学校が多くあります。それぞれの取組に合わせ、チラシの配布や実践カードの記入など、有効にご活用ください。また、6月配布のチラシも予備があります。必要な園、学校がありましたらご連絡ください。  
( 恵那県事務所 0573-22-1111 【内線208】 )

「令和6年度家庭教育学級実施調査」及び  
「話そう!語ろう!わが家の約束」運動への取組状況調査のお願い

県内の公立小中学校・幼(稚・児)園・こども園における家庭教育学級の実施状況について、今後の県の施策に反映していく目的で、各市を通じて、調査を行います。県民生活課より各園・学校に調査の依頼があると思います。ご協力をよろしくお願いいたします。

保護者組織の中に、家庭教育(子育て)委員会がなくても、本部役員会や研修委員会等で、その役割を担っている園、学校もあると思います。「園・学校」と「家庭」をつないでいる取組について、今年度の実施状況のご回答をお願いします。